

第2回 4月 センター試験本番レベル模試

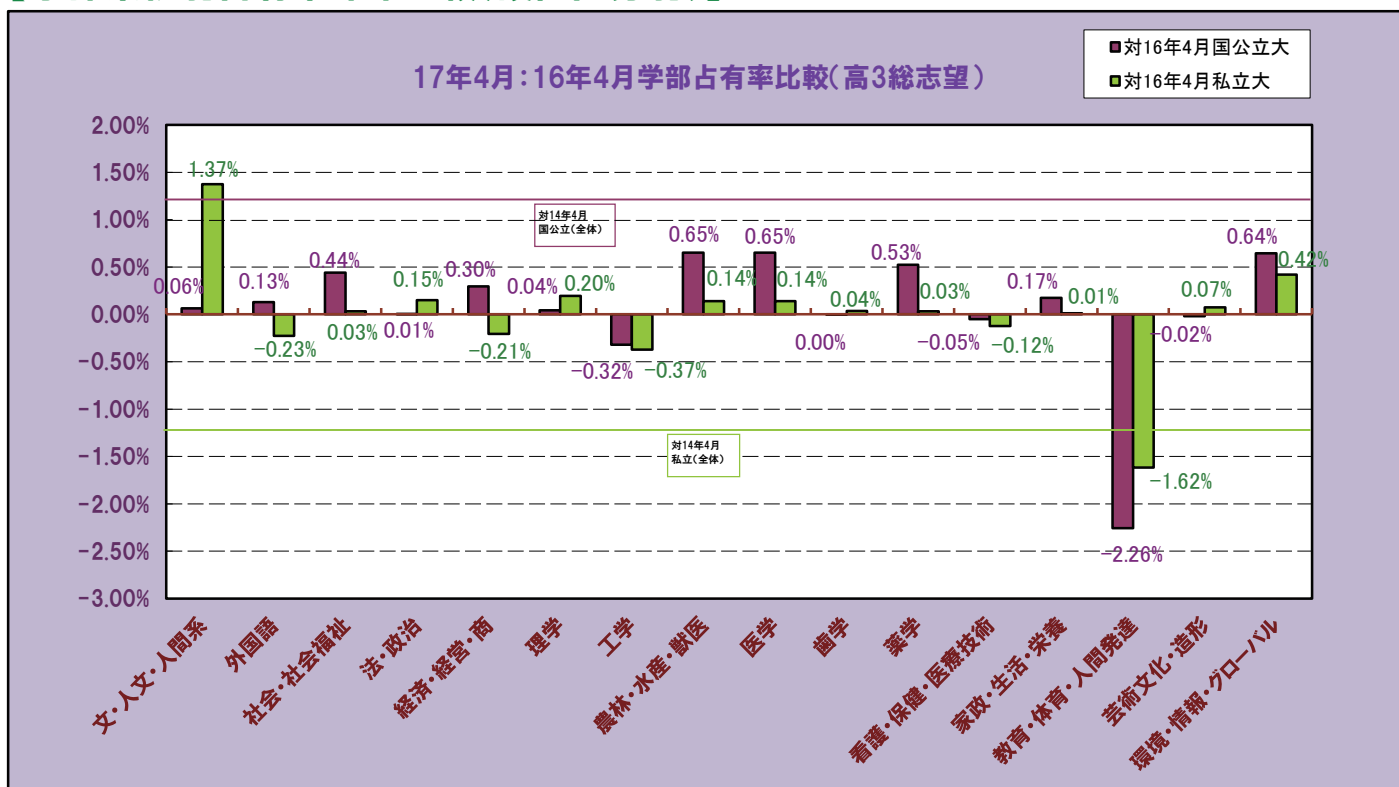
将来の目標達成に向けて、 計画的に学習を進めよう！

4月23日（日）に実施した「第2回 4月 センター試験本番レベル模試」の高3生の学部系統別の志望動向を、昨年同時期に同模試を受験した先輩の志望動向と比較した。

受験生として迎えた昨年のこの時期を、先輩たちは大学でどのような分野を学びたいと考えて高校生活を過ごしていたのだろうか。

自分は何を目指したいのか、何を学びたいのか…志望校を選択するにあたって、現時点での動向を把握して、参考にしてほしい。

【学部系統別占有率昨年比較(設置区分別)】



【学部系統別指数(設置区分別)】*前年度を100とする

系統別名称	国公立指数	私立指数	総合
文・人文・人間系	105	99	109
外国語	98	97	97
社会・社会福祉	115	103	107
法・政治	105	110	102
経済・経営・商	102	108	101
理学	97	92	102
工学	98	94	99
農林・水産・獣医	106	95	91
医学	109	96	106
歯学	102	93	103
薬学	100	96	106
看護・保健・医療技術	99	94	98
家政・生活・栄養	101	102	106
教育・体育・人間発達	87	91	75
芸術文化・造形	100	113	105
環境・情報・グローバル	107	102	109

■国公立大

年度初めということもあってか、国公立大学志向が強く表れた結果となっている。

系統別の志望動向としては、どちらかといえば「文高理低」の傾向ではあるが、教育・体育・人間発達系を除き、大幅に減少している系統はない。

■私立大

社会・社会福祉系、法・政治系、経済・経営・商学系といった社会科学系の学部系統は相変わらずの人気ぶりであるが、その他については、全体的に志望者数が減少している。

しかし、受験校を検討していく中で併願対策として私立大学の受験校数を増やす受験生もいることから、今後大きく変化していくと思われる。

※このデータは、2017年と2016年の「第2回 4月 センター試験本番レベル模試」について、大学の設置区分(国公立・私立)ごとに学部系統別の総志望者数(統一実施日受験の高3生・第6志望まで)から算出した割合を比較したものである。